

日赤なら



県民の皆様には、赤十字事業の推進につきまして、日ごろより格別のご協力を賜わり、心から厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社は、災害等から命を守るため、救護活動や被災者支援などの**人道活動**を行っています。奈良県支部では、「**防災・減災講習**」、「**赤十字ボランティアや青少年赤十字の育成**」、災害などで被災された方々の「**救護活動**」をはじめ、いざという時に役立つ「**赤十字講習**」や「**血液事業**」など、さまざまな活動を展開しています。

赤十字活動はすべて、皆さまお一人お一人からの「**会費**」や「**寄付金**」、そして多くのボランティアの方々によって支えられております。

皆さまのあたにかいご支援ご協力を賜わりますよう、心からお願い申し上げます。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

奈良県支部



〒630-8133
奈良市大安寺1丁目23番2号
TEL: 0742-61-5666
FAX: 0742-61-5756
<http://www.nara.jrc.or.jp/>



災害救護活動

災害からいのちを守る



地震や台風などで災害にあわれた被災者を救うため、**奈良県立病院機構(奈良県総合医療センター・奈良県西和医療センター)**、**南和広域医療企業団(南奈良総合医療センター)**、**市立奈良病院**、**大和高田市立病院**、**奈良県立医科大学付属病院**と救護班派遣の委託契約を締結しています。

また、地震や大型台風などの災害を想定した救護員や支援員の訓練、救護資機材・救援物資の整備と配布、義援金の募集活動をおこなっています。

救援体制の構築

災害発生時の医療救護活動を効果的・効率的に行えるよう支部では、次のとおり知識と技術の研鑽に勤めています。

- ・医療チームを統合調整する医療コーディネーター及びコーディネートスタッフの養成をしています。
- ・救護班に対して研修会を実施し、近畿ブロック合同訓練や県防災訓練等の実働訓練に参加しています。

また、日頃から地域住民に対して、災害からいのちを守るため、地域の防災力を高めるための「防災教育セミナー」や「赤十字防災啓発プログラム」等に講師を派遣しております。



熊本地震災害の活動

地域や家庭で防災・減災について考えてみませんか？

東日本大震災や熊本地震などの災害から学んだ知識や教訓を、今後の備えとして多くの方に知っていただくため、「赤十字防災啓発プログラム」を普及しています。

地域コミュニティでの「自助」「互助」「共助」の力を高めるために、地域のニーズに合わせた内容で実施しています。

災害エスノグラフィー

過去の大規模災害における被災者の経験談を再編集して1つの読み物を作り上げ、読み物を通じた過去の災害の追体験をすることで、被災の具体的なイメージを把握・理解します。



災害図上訓練DIG

自らの居住地域で、防災上の資源や災害時に出現する危険性を地図に明記し、個人や地域単位であらかじめ行うべき取り組みについて、グループワークを通じて検討し理解を深めます。



災害への備え

災害(特に地震、津波、大雨・土砂)からいのちを守り、身の安全を確保するため、普段から準備すべきことを学びます。



※町内や自治会での研修等に積極的に指導員を派遣しています。

詳しくは、支部にお問い合わせいただくか、奈良県支部のホームページをご覧ください。

救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え支部では、救援物資(毛布・布団・バスタオル・緊急セット・安眠セット)を備蓄していますが、平成29年度に、バスタオル300枚の追加購入と新たにブルーシート200枚(3.6m×5.4m)を備蓄しました。

平成30年度は、次のとおり救援物資の備蓄と救護装備の整備を行ないます。

救援物資

- ・ブルーシート(3.6m×5.4m)の追加備蓄。
- ・タオルケット新規備蓄。

救護装備

- ・モバイルパソコンの更新。
- ・通信機器の整備。

また、災害時に迅速な救護活動を円滑にできるよう、災害時にご協力いただける企業との締結にも取り組みます。



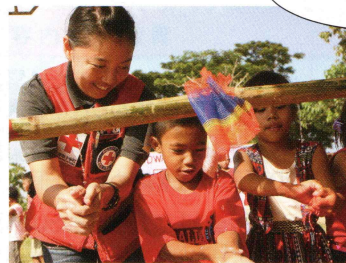
災害救援車を更新しました。
(御杖村・吉野町・大淀町・天川村・上北山村)
(平成30年1月26日)

国際活動

世界とつながる

現在、191の国と地域に、赤十字社や赤新月社等があり、日本赤十字社は世界の赤十字と連携を取り、シリア難民など紛争で苦しんでいる人々や自然災害の被災者の支援、アジア・大洋州諸国の給水支援などに対する支援を行っています。

また、奈良県支部では、本社・第4ブロック(近畿)各支部と連携してフィリピンの保健医療支援事業やシリア難民の支援、アジア・大洋州諸国の給水支援など人々の支援に取り組んでいます。



フィリピン保健医療支援事業に資金協力します



救護看護師の養成

国内外で活躍できる看護師の養成

豊かな人間性と看護に関する幅広い能力と、災害救護の専門知識を兼ね備え、国内外を問わず、広く社会に貢献できる看護師を養成するため、大阪赤十字看護専門学校に委託しております。

また、赤十字看護学生には、奨学金制度を設けております。



看護専門学校での風景



青少年赤十字

思いやりを育む

将来をにう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の授業の中で豊かな人間性や社会性を育む活動をしています。

先生等を対象とした防災教育研修・セミナーへの講師派遣や、青少年が自然災害のメカニズムや危険からの避難方法を学ぶだけではなく、「いのちの大切さ」や「思いやり」「優しさ」を養う防災教育プログラム(防災教育教材：DVD)を配布しております。

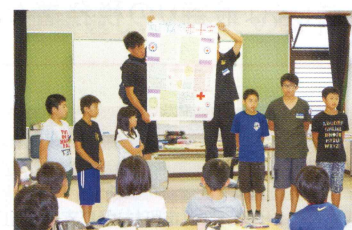
また、加盟校の意欲的な活動に対し支援(助成)制度をもうけています。

加盟校募集中!



実践目標

- ・健康・安全
- ・奉仕
- ・国際理解・親善



青少年赤十字トレーニングセンターでの壁新聞発表の様子



赤十字講習会

いざという時に備えて



地域包括ケアシステムに係る講習会

～大切ないのちと健康を守るために～

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という、赤十字の使命に基づき、緊急時や災害時に人命を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術を広めるため、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」「健康生活支援講習」などの講習を実施しています。

地域包括支援事業などに対応した内容での講義もいたします。



救急法講習

一次救命処置や急病や骨折など、けがの応急手当てなどについて学べます。

健康生活支援講習

健康管理・介護予防についてや介護のしかたや、支援方法などについて学べます。

水上安全法講習

泳ぎの基本と事故防止、おぼれた人の救助方法などについて学べます。

幼児安全法講習

子どもに起こりやすい事故の予防とその手当てなどについて学べます。

災害時要配慮者生活支援講習

避難所での生活支援の方法・こころのケアについて、また防災・減災のための対応などについて学べます。

血液事業

献血にご協力を!!



血液は、長い期間にわたり保存ができないため、絶えず新たに誰かの血液が必要となりますが、献血者数は、急速な高齢化の進展などにより減少傾向にあります。

このため、血液センターでは、県内各地で献血をお願いし、24時間体制で安全な血液を安定的に医療機関に届けています。



献 血 基 準	成分献血		全血献血	
	血漿	血小板	200mL 献血	400mL 献血
年 齢	男女とも 18 歳～69 歳※	男性 18 歳～ 69 歳※	男女とも 16 歳～69 歳※	男性 17 歳～ 69 歳※
		女性 18 歳～ 54 歳		女性 18 歳～ 69 歳※
体 重	男性 45 kg以上・女性 40 kg以上			男女とも 50 kg以上

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限ります。

献血にご協力を
お願いいたします

献血場所

奈良県赤十字血液センター
大和郡山市筒井町600-1 TEL.0743-56-6100
<http://www.narakenketsu.jp/>
近鉄奈良駅ビル献血ルーム
奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル6階
TEL.0742-22-2122



赤十字ボランティア

活動を支える



“赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会を住みよくしよう”という気持ちをもち、人々の集まりで、年齢や性別は問わず、災害救護や献血の推進、講習会の普及や赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加・協力しています。

地域赤十字奉仕団

市町村毎に組織され、活動内容は固定したものではなく、地域の情勢やニーズに合わせて活動しています。その主な活動は、防災訓練や街頭献血の呼びかけ、老人ホームでの交流会や清掃奉仕などに取り組んでいます。

また、国内外で災害等が発生したときは、積極的に義援金や救援金の募集を行っています。



NHK海外たすけあい街頭募金

無線・救護赤十字奉仕団

無線技士の資格を活かし、災害時の情報収集や伝達を担うため通信訓練や救護活動を行っています。



安全法指導赤十字奉仕団

赤十字の指導員資格を有し、健康で安全に暮らすための知識や技術をつたえる講習を普及しています。



青年赤十字奉仕団

勤労青年や大学生で組織され献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどを行っています。



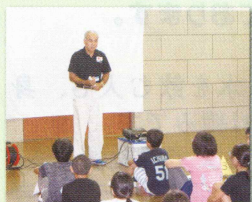
看護赤十字奉仕団

看護師の資格を有し、公共性の高い行事への臨時救護などの活動を行っています。



青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字を支えています。



赤十字防災ボランティア

災害発生時に、支部の救護活動や被災者支援のための活動を行っています。



赤十字活動資金にご支援をお願いします

会費等(活動資金)へのご協力方法

- ①自治会・町内会や赤十字奉仕団を通してのご協力
- ②各市町村の赤十字窓口でのご協力
- ③日赤奈良県支部や県内の赤十字施設（赤十字血液センター・献血ルーム）でのご協力
- ④郵便局・銀行・JAならけんからのお振込によるご協力

金融機関名	口座番号	加入者名
ゆうちょ銀行	00950-9-105293	日本赤十字社奈良県支部 支部長 荒井正吾
南都銀行 南支店	普通 No. 0442508	
奈良県農業協同組合 本店	普通 No. 0009950	

※ ATM機（現金自動預け払い機）等で、ご協力いただいた場合は、振込手数料をご負担いただくこととなりますので、ご了承をお願いします。

※ 振込用紙の通信欄には、「活動資金」とご記入下さい。

※ 南都銀行・JA 奈良からお振込の場合は、支部へご連絡ください。振込用紙を送付いたします。

⑤口座自動引落としでのご協力

日本赤十字社本社（東京都港区）でとりまとめております「口座自動引落とし」での活動資金のご協力方法です。

ご自分の希望される月に、ご登録いただく金融機関の口座から会費（活動資金）のご協力をいただくものです。口座振替申込書は支部まで、ご連絡下さい。

⑥インターネットでのご協力（クレジットカード）

インターネットで簡単に赤十字の活動資金としてご協力いただけます。（1回2,000円以上）

⑦法人の社会貢献活動で、株主優待制度による寄付や商品売り上げの一部寄付などでもご支援いただいております。

⑧遺贈・相続財産等の寄付（相続税の優遇措置があります。）香典返しに代えての寄付などでもご支援いただいております。

※ ⑤⑥は、日本赤十字社本社のホームページから申し込みできます。

活動資金と国内義援金と海外救援金の違い

活動資金・・・災害時の救護、ボランティアの育成、講習普及事業など赤十字の事業に活用されます。

国内義援金・・・国内の災害で被災された方々に対し、県・市町村を通じて全額被災者に配分されます。（被災者へ）

海外救援金・・・海外の災害や紛争等の被災者に対し、赤十字が行なう救援活動や復興支援事業に活用（本社へ）されます。

寄付機能付き自動販売機

日本赤十字社奈良県支部では、寄付機能付き自動販売機をコカコーラ様及びアサヒ飲料様、奈良ベンダー様とともに、自動販売機の設置活動に取り組んでいます。赤十字マークが付いた自動販売機の収益の一部をご寄付いただき、災害救護や救援物資の備蓄などの赤十字活動に活用させていただきます。



飲む人も、置く人も気軽にできる
社会貢献となっております。

自動販売機を置く人も、飲料水を飲む人も、身近なところで社会貢献ができる取り組みです。

この自動販売機は、個人でも法人でも設置でき、管理や売上金の回収、赤十字への振込などは業者が行い設置者様のご負担は、主に電気代のみです。

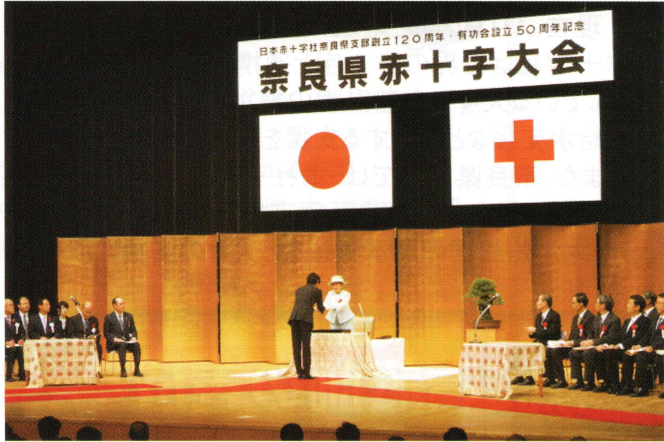


日本赤十字社の表彰

項 目	表 彰 基 準 内 容
支部長表彰状 支部長感謝状	活動資金として、一時または累計で 10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章社員	活動資金として、一時または累計で 20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章社員	活動資金として、一時または累計で 50万円以上を納められた個人・法人等
日本赤十字社感謝状	金色有功章受章後、更に活動資金として 50万円以上を納められた個人・法人等

国の表彰

項 目	表 彰 基 準 内 容
厚生労働大臣感謝状	活動資金として、 100万円以上を納められた個人 300万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	活動資金として、 500万円以上を納められた個人 1,000万円以上を納められた法人等



奈良県支部では、5年に一度、「名誉副総裁」のご臨席を賜わり、赤十字大会を開催しています。

・支部創立120周年・有功会設立50周年記念奈良県赤十字大会
・平成27年11月11日:奈良県文化会館国際ホール

税制上の優遇措置

赤十字の活動資金(会員・協力会員など)にご協力いただいた場合は、特定公益法人への特定寄付金として、寄付金額より2千円を差し引いた金額が、年間所得から控除(寄付金控除)されます。

また、赤十字以外の特定寄付金と合算することができます。

サラリーマン等で源泉徴収を受けている方は、確定申告をすることで課税対象額が減り、税金の還付を受けることもできます。

※ 詳しくは最寄りの税務署などにお問い合わせください。

平成28年度決算

収入の部	決算額(円)
社資収入 (地区区分(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの社資、寄付金)	115,503,164
補助金及び交付金収入 (日本赤十字社本社からの交付金)	200,000
繰入金収入 (住民税控除対象の海外救援金:ネパール地震救援金)	11,100,000
雑収入 (講師派遣収入、講習用教材費収入等)	6,610,742
前年度繰越金	5,065,287
収入合計	138,479,193
支出の部	決算額(円)
災害救護事業費 (熊本地震への救護班派遣、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等)	22,532,190
社会活動費 (救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費)	33,205,756
国際活動費 (ケニア地域保健強化事業費・近畿共同事業費)	1,007,226
指定事業地方振興費 (救護資機材費、救援物資整備費)	3,000,000
地区区分交付金支出 (地区区分(市町村)における赤十字活動費)	11,357,034
社業振興費 (赤十字思想の普及啓発費、社資・義援金募集、社員管理費、全国赤十字大会参加費)	20,800,280
積立金支出 (災害発生に備えた積立金等)	5,212,028
総務管理費 (支部の事業管理運営費)	23,864,517
資産取得及び資産管理費 (施設管理費)	924,122
本社送納金支出 (日本赤十字社本社への送納金)	16,425,474
支出合計	138,328,627
次期繰越金	150,566

平成30年度予算

収入の部	予算額(円)
社資収入	167,000,000
補助金及び交付金収入	4,610,000
繰入金収入	1,100,000
雑収入	4,790,000
前年繰越金	500,000
収入合計	178,000,000
支出の部	予算額(円)
災害救護事業費	25,220,000
社会活動費	43,280,000
国際活動費	1,100,000
指定事業地方振興費	2,000,000
地区区分交付金支出	16,390,000
社業振興費	30,600,000
積立金支出	5,400,000
総務管理費	25,690,000
資産取得及び資産管理費	1,342,000
本社送納金支出	24,450,000
予備費	2,528,000
支出合計	178,000,000